

みず子供養にみる宗教性の問題

岩 本 一 夫

宗教学が宗教現象をその学問対象とすることは言う迄もないが、その基本的方法論については様々な分野から様々に論じられてきた。現在では、それが「あくまでも宗教現象自体に立脚したもので、記述的 descriptive なもの」という線で一応の安定を得ているようである。しかしながら、現代の如き機能的に分化した社会にあっては、宗教現象自体も多様化多元化しており、所謂「記述的」報告の堆積のみであって、宗教学の外延は拡大しているが内包は益々希薄化し、言わば空洞化していると言わざるを得ない。言い換えるならば、宗教の本質に関する議論は言うに及ばず、「何が宗教現象であるか」を決定する基準すら与えられていないのである。そこから、宗教と呪術、宗教と迷信、宗教と習俗、宗教と代替え宗教あるいは疑似宗教等の区別は、研究者の主観的、恣意的判断に委ねられるという結果になっている。従って最近ではむしろ、研究者の側に仮設的であれ、宗教の定義が必要であるとの指摘がなされるようになって来た。例えば、井門富二夫氏の言葉を引くと、氏は次の如く述べている。

「何はともあれ、『対象に語らず』ことから調査を始めるのもよいが、やはり研究者が宗教についての仮説的な定義を用意しておかなければ、この機能分化社会で宗教現象を分析しようと試みると、他の学問分野の人々から、宗教を見る目が余りにも恣意的すぎる、御都合主義でありすぎると批判されることになる。」¹⁾

確かに、宗教の定義と言うよりも、少なくとも、ある一つの現象を「これは宗教である」と決定するのに必要な、言わば、宗教認定の為の基準に関する議論が今や不可欠であると思われるのである。

このことは、宗教研究の方法論上から要請されるのみならず、現在日本が抱えている宗教上の諸問題からも言い得ることであると思われる。井門氏も言及している如く、地鎮祭、忠魂碑、地蔵尊像設置、市役所内の神棚事件、小学生の修学旅行の際の東照宮の拝殿参拝拒否事件等の違憲訴訟に関しては、裁判所側から宗教認定基準がその都度示されているのであるが、その他、靖国神社公式参拝問題等に鑑みた場合、宗教研究の立場からも宗教認定の論議が今や避けられないものではないかと思われるのである。

水子供養に関する共同調査研究が、かかる問題意識に動かされたものであることは、2年前の本紀要の紙面を借りて既に報告したところである。²⁾ この調査研究を始めるに当って、調査者の側には、供養者自身はこの供養が宗教的行為であるとは余り考えていないのではなかろうかという漠たる予感があった。事実、アンケート調査後の統計資料は、その予感の正しかったことを裏書きしている。前回本紙紀要に報告・掲載した統計資料作製の後、京都大学教養学部社会学研究室と共同研究の形で、その後に累積した資料を整理した結果では、供養者 1,127 名中の 518 名 (46.0%) が、「みず子を供養することは宗教的行為だと思いますか」という問いに対して、「思わない」と答えているのである。これは、「思う」の 189 名 (16.8%)、「思えるところもある」の 191 名 (16.9%) を加えた 380 名 (33.7%) を上回っているのである。

ここには、宗教認定基準の問題の外に、日本人の宗教意識の特質等の様々な問題も含まれていることが窺えると思われるが、差し当たりここで確認しておきたいことは、アンケートの統計資料のこの項目の示唆する如く、他の項目の検討によっ

② している場合、それは次のどの宗教ですか。

	1	2	3	4	5
	31 9.2	246 72.8	21 6.2	16 4.7	24 7.1

計 338 名

③ みず子供養することは宗教的行為だと思いますか。

	1	2	3	4	5	無回答
	189 16.8	518 46.0	191 16.9	148 13.1	28 2.5	53 4.7

④ では、供養は宗教的感情に発するものだと思いますか。

	1	2	3	4	5	無回答
	186 16.5	430 38.2	245 21.7	168 14.9	14 1.2	84 7.5

⑤ あなたにとって供養することは次のどれに当たりますか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	147 13.0	356 31.6	833 73.9	23 2.0	294 26.1	9 0.8	503 44.6	6 0.5	450 39.9	229 20.3	45 4.0	35 3.1

⑥ 宗教といわれて、どのようなものと思いますか。(複数回答)

A	1	2	3	B	1	2	3	4	5	6	8	9
	212 18.8	723 64.2	303 26.9		120 10.6	258 22.9	340 30.2	131 11.6	333 29.5	499 44.3	278 24.7	14 1.2

⑦ 宗教は必要だと思いますか。

	1	2	3	4	5	6	無回答
	274 24.3	576 51.1	30 2.7	0 0	184 16.3	11 1.0	52 4.6

④ あなたは、毎日みず子とどのように暮していますか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8
	169 15.0	202 17.9	213 18.9	448 39.8	152 13.5	115 10.2	129 11.4	176 15.6

⑤ 供養は一生のものであると思いますか。

	1	2	3	4	5	無回答
	412 36.6	551 48.9	12 1.1	108 9.6	20 1.8	24 2.1

3

① あなたは死後の世界があると思いますか。

	1	2	3	4	5	6	無回答
	497 44.1	353 31.3	34 3.0	20 1.8	203 18.0	1 0.1	19 1.7

② あなたは死後についてどう思っていますか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	95 8.4	390 34.6	197 17.5	19 1.7	35 3.1	334 29.6	4 0.4	330 29.3	168 14.9	379 33.6	227 20.1	11 1.0

③ あなたは死者と何か交信があると思いますか。

	1	2	3	4	5	無回答
	166 14.7	421 37.4	80 7.1	308 27.3	76 6.7	76 6.7

* 死者との交信コード

- 1 夢にでてくる
- 2 交感・交信・交霊
- 3 幽霊(幻視)
- 4 とりつかれる・肩が重い・金しぼり
- 5 予見
- 6 守護・みまもられている
- 7 その他

④ 死者との交信例*

	1	2	3	4	5	6	7
	74 6.6	66 5.9	13 1.2	17 1.5	21 1.9	38 3.4	39 3.5

記入者 227 名 (20.1)

⑤ あなたはみず子となったお子さんは、どうなっていると思いますか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	197 17.5	291 25.8	382 33.9	234 20.8	153 13.6	224 19.9	509 45.2	95 8.4	4 0.4	23 2.0	4 0.4	193 17.1	54 4.8	135 12.0	35 3.1

4

① あなたご自身は何か宗教を信仰していますか。

	1	2	3	4	無回答
	303 26.9	681 60.4	71 6.3	21 1.9	51 4.5

12 お子さんを亡くした理由は

	流産	死産	中絶	出産後	事故死	事件死	病死	その他
	216	35	857	7	0	0	8	3
	19.2	3.1	76.0	0.6	0	0	0.7	0.3

13 当寺以外の供養有無

	有	無	その他	無回答
	274	782	13	58
	24.3	69.4	1.6	5.1

14 供養回数

	毎日	週1回	月1回	年1回	その他	無回答
	45	7	113	294	306	362
	4.0	0.6	10.0	26.1	27.2	32.1

15 供養の日

	命日	正月	ひな祭	春の彼岸	秋の彼岸	子供の日	七夕	盆	地藏盆	クリスマス	その他
	246	31	7	112	120	19	3	181	42	3	270
	21.8	2.8	0.6	10.0	10.6	1.7	0.3	16.1	3.7	0.3	24.0

16 供養年数

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
92	143	102	97	65	80	36	20	23	11	53	5	4	4	1
8.2	12.7	9.0	8.6	5.5	7.1	3.2	1.8	2.0	1.0	4.7	0.4	0.4	0.4	0.1
15	16	17	18	19	20	23	24	25	27	28	30	41	44	99
8	2	2	1	1	12	1	1	4	1	1	1	1	1	357
0.7	0.2	0.2	0.1	0.1	1.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	31.7

2

1 あなたはみず子に対して、どのような気持ちをお持ちですか。

	1	2	3	4	5	無回答
	826	134	90	10	37	30
	73.3	11.9	8.0	0.9	3.3	2.7

2 供養をしないとタタリがあると思いますか。

	1	2	3	4	5	無回答
	373	439	120	128	43	24
	33.1	39.0	10.6	11.4	3.8	2.1

* タタリの心当り

- * タタリの心当りコード
 1 身体の調子にでてくる
 2 夢まくら等にでてくる
 3 声がきこえる
 4 異常現象・かなしばり
 5 不幸・災難をまねく
 6 子供がだめになる
 7 子供が生まれない(流死産含)
 8 家族が病氣・ケガをする
 9 家庭不和・人間関係もつれ
 10 縁談不調
 11 離婚
 12 その他
 13 分らない
 14 「ええこと」がある
 15 タタリ認めない

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	59	27	3	26	37	18	26	41	17	6	2	12	2	6	1
	5.2	2.4	0.3	2.3	3.3	1.6	2.3	3.6	1.5	0.5	0.2	1.1	0.2	0.5	0.1

3 供養をすることにより、どのようなことを願っていますか。(複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	355	430	289	427	480	370	326	69	258
	31.5	38.2	25.6	37.9	42.6	32.8	28.9	6.1	22.9

1

① 性 別

女 性 957 名

男 性 135 名

無回答 35 名 総 計 1,127 名

② 年 齢 層

	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36～60	41～45	46～50	51～55	56～60	61以上	無回答
	4	88	341	243	105	77	66	64	51	27	11	50
	0.4	7.8	30.3	21.6	9.3	6.8	5.9	5.7	4.5	2.4	1.0	4.4

③ 現住所

	農村部	漁村部	山村部	都市部	その他	無回答
	86	9	25	678	71	258
	7.6	0.8	2.2	60.2	6.3	22.9

④ 出身地

	農村部	漁村部	山村部	都市部	その他	無回答
	160	33	75	496	66	297
	14.2	2.9	6.7	44.0	5.9	26.4

⑤ 最終学歴

	小 学	中 学	高 校	専門学校	大 学	大 学 院	そ の 他	無 回 答
	16	124	493	146	295	4	12	37
	1.4	11.0	43.7	13.0	26.2	0.4	1.1	3.3

⑥ 現在の御生活は

	独り住い	核 家 族	親と同居	父子家庭	母子定庭	そ の 他	無 回 答
	133	475	366	9	50	35	59
	11.8	42.1	32.5	0.8	4.4	3.1	5.2

⑦ 職 業

	主 婦	無 職	パ ー ト	家事手伝	学 生	O.L.	技 術 職	販売店員
	246	116	28	15	52	310	76	25
	21.8	10.3	2.5	1.3	4.6	27.5	6.7	2.2
	サービス業	公 務 員	教 員	自 営 業	農林漁業	専 門 職	そ の 他	無 回 答
	21	50	28	44	4	5	7	100
	1.9	4.4	2.5	3.9	0.4	0.4	0.6	8.9

⑧ あなたは結婚していますか

	未 婚	初 婚	再 婚	同 棲	離 婚	別 居	死 別	そ の 他	無 回 答
	457	533	23	14	38	8	10	3	41
	40.6	47.3	2.0	1.2	3.4	0.7	0.9	0.3	3.6

2 以下の項目について、該当するものを選び、その番号に○をおつけ下さい。

① あなたは、みず子に対して、どのような気持ちをお持ちですか。

1. 罪を感じる。
2. 罪を感じることもある。
3. 罪を感じることはないが、心の重荷になっている。
4. まったく罪を感じない。
5. その他 ()

② 供養をしないと、タタリがあると思いますか。

1. 思う。
2. 思うところもある。
3. 思わない。
4. わからないから教えてほしい。
5. その他 ()

※何かそういう心当りが、今迄におありでしたか。さしつかえなければ、それがどのようなものか、お教え下さい。

③ 供養することにより、どのようなことを願っていますか。いくつでも選びお答え下さい。

1. これから先、タタリがないように。
2. 不幸・不運がなくなるように。
3. 子宝にめぐまれたい。
4. 家内安全。
5. 自分や家族の健康。
6. 現在の子供の幸せ。
7. 幸せな結婚生活。
8. 願っていることは特にない。
9. その他 ()

④ あなたは、毎日みず子と、どのように暮していますか。いくつでも選びお答え下さい。

1. 日々の暮しに追われて、考える余裕がない。
2. 心の重荷となっているので、なるべく思いださないようにしている。
3. 思いださない日とてない。
4. 毎日供養の気持である。
5. 何か困ったことがあると、みず子に相談したり、頼んだりする。
6. みず子のかわりになるものを置いて、一緒に暮している。
7. みず子のかわりになるものが、今はないので、ほしい。
8. その他 ()

⑤ 供養は一生のものであると思いますか。

1. 一生続けていかなければならない。
2. 一生続けていきたい。
3. 一生のものとは思わない。
4. 一生のものかどうかわからない。
5. その他 ()

3 以下の項目について、該当するものを選び、その番号に○をおつけ下さい。

① あなたは死後の世界があると思いますか。

1. あると思う。
2. あるかもしれない。
3. あってほしい。
4. ない。
5. わからない。
6. その他 ()

② あなたは死後についてどう思っていますか。いくつでも選びお答え下さい。

1. 全く無に帰っている。
2. 全く無に帰るのではなくて、何か分らないがある存在となる。
3. 自然にかえる。
4. エネルギーに戻る。
5. 宇宙の生命体と一体になる。
6. 先祖のいる所にかえる。
7. 地下にゆく。
8. 霊魂としてあの世に行く。
9. 極楽か天国に行く。
10. 又生れかわってくる。
11. 分らない。
12. その他 ()

③ あなたは死者と何か交信があると思いますか。

1. あると思う。
2. あるように思う事もある。
3. あってほしい。
4. ない。
5. その他 ()

④ 死者との交信があるとすれば、それは何ですか。お教え下さい。

⑤ あなたは、みず子となったお子さんは、どうなっていると思いますか。いくつでも選びお答え下さい。

1. この世ならぬ力をもった神とか仏等になっている。
2. 祖先のいる所にかえっている。
3. 霊魂としてあの世にいる。
4. 極楽、天国にいる。
5. この世とあの世の間にいて悩んでいる。
6. 生れかわる霊として存在している。
7. いつも自分の心の中にいる。
8. 自然にかえっている。
9. 木とか山そのものになっている。
10. 宇宙の生命体と一体になっている。
11. エネルギーになっている。
12. 何か分らないが、ある存在となっている。
13. 全く無に帰っている。
14. 分らない。
15. その他 ()

4 以下の項目について、該当するものを選びその番号に○をおつけ下さい。

① あなたご自身は何か宗教を信仰していますか。

1. している。
2. していない。
3. 分らない。
4. その他 ()

② している場合、それは次のどの宗教ですか。

1. 神道。
2. 仏教。
3. 新宗教(創価学会・PL・立正佼成会・等)。
4. キリスト教。
5. その他 ()

③ みず子に供養することは宗教的行為だと思えますか。

1. 思う。
2. 思わない。
3. 思えるところもある。
4. 分らない。
5. その他 ()

④ では、供養は宗教的感情に発するものだと思いますか。

1. 思う。
2. 思わない。
3. 思えるところもある。
4. 分らない。
5. その他 ()

⑤ あなたにとって供養することは次のどれに当たりますか。いくつでも選びお答え下さい。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 生活のけじめ | 2. 生きていく上での心の支えや慰め |
| 3. 罪のつぐない | 4. 自分を高めること |
| 5. 心の重荷から軽くなること | 6. ただ何となく |
| 7. 気持のやすらぎ | 8. 気ばらし |
| 9. 自然な気持から出た自然な行為 | 10. 幸せになること |
| 11. 人間以上の力を持つものをなだめる | 12. その他 () |

⑥ 宗教といわれて、どのようなものと思いますか。次の(A)、(B)の各項の中からいくつでも選びお答え下さい。

(A) 1. 宗教団体の信者でその団体の行事に参加すること。

2. 個人的に心の中に信仰を持つこと。
3. 昔からの儀式(葬式・祭・墓まいり等)や慣習。

(B) 1. 超自然的力や存在を信じること。

2. 自分を高め、道徳的な基準を得ること。
3. 家内安全・商売繁昌などを神や仏などに祈願すること。
4. 太陽や山など自然に対して厳かな気持を持つこと。
5. 禍や不幸をさけたり、なくしたりするために人間以上の存在・例えば神や仏にたよること。
6. 自分の罪を知り、それを清めるために神や仏に祈ること。
7. 悩みや不安から逃れるための弱者のよりどころ。
8. その他 ()

⑦ 宗教は必要だと思いますか。

1. ぜひ必要。
2. あってもよい。
3. なくてもよい。
4. ないほうがよい。
5. 分らない。
6. その他 ()

供養料 (最低金額)				供養料 (最酸金額)			
3,000円	14(9.2%)	無回答	28(18.4%)	3,000円	7(4.6%)	5万円	8(5.3%)
4,000円	1(0.7%)			5,000円	15(9.9%)	5万5,000円	1(0.7%)
4,500円	1(0.7%)			6,000円	2(1.3%)	7万円	2(1.3%)
5,000円	24(15.8%)			7,000円	1(0.7%)	8万円	2(1.3%)
6,000円	2(1.3%)			8,000円	1(0.7%)	10万円	1(0.7%)
7,000円	2(1.3%)			8,500円	1(0.7%)	15万円	1(0.7%)
1万円	15(9.9%)			1万円	15(9.9%)	18万円	1(0.7%)
1万500円	1(0.7%)			1万500円	1(0.7%)	35万円	1(0.7%)
1万5,000円	3(2.0%)			1万3,000円	1(0.7%)	お志	29(19.1%)
2万円	4(2.6%)			1万5,000円	4(2.6%)	無回答	26(17.1%)
2万3,000円	1(0.7%)			2万円	9(5.9%)		

問 28. 貴団体は、人工中絶についてどのようにお考えですか。

人工中絶は、権利として当然認められるべきである。 0(0.0%)

人工中絶は、絶対に許されるべきではない。 22(14.5%)

人工中絶は、事情によってはやむをえない。 118(77.6%)

無回答 12(7.9%)

問 29. 貴団体は、「水子供養」をするにあたって、人工中絶と自然流産・死産とを区別されますか。

区別する 20(13.2%) 区別しない 114(75.0%) その他 6(3.9%)

無回答 12(7.9%)

問 30. 貴団体は、お参りにこられた方が、気持ちや感想などを自由に書ける「ノート」を備えておられますか。

ある 7(4.6%) ない 128(48.2%) その他 1(0.7%) 無回答 16(10.5%)

『水子供養』に関する調査

アンケート統計資料

対 象：水子供養者

調査者：東京工芸大学共同研究班

回答数：1,127

みず子供養についてお教え下さい。

1 中カッコ()内は該当のものをいくつでもえらんで○でかこみ、小カッコ()内にはお書き入れ下さい。

① 性別(男 ・ 女)

② 年齢()才

③ 現住所(都・道・府・県)

(農村部・漁村部・山村部・都市部・その他)

④ 出身地(都・道・府・県)

(農村部・漁村部・山村部・都市部・その他)

⑤ 最終学歴(小学・中学・高校・専門学校・大学・大学院・その他())

⑥ 現在の御生活は

(独り住い・核家族・親と同居・父子家庭・母子家庭・その他())

⑦ 現在の御職業は()

⑧ あなたは結婚していますか。

(未婚・初婚・再婚・同棲・離婚・別居・死別・その他())

⑨ あなたは現在お子さんを御持ちですか。

(男子(人)・女子(人)・いない)

⑩ お持ちの場合、そのお子さんは、

実子(人)・連子(人)・養子(人)・

先夫の子(人)・先妻の子(人)・その他(人)

⑪ お子さんを失くされたことがありますか。

(ある(人)・ない)

⑫ お子さんを失くした理由は。

(流産・死産・中絶・出産後・事故死・事件死・病死・その他())

⑬ 当寺以外でも供養していますか。

(いる・いない(箇所)・その他())

⑭ その供養の回数は。

(毎日・週に一度・月に一度・年に一度・その他())

⑮ その供養をされる日は。

(命日・正月・ひな祭・春の彼岸・秋の彼岸・子供の日・七夕・盆・地蔵盆・クリスマス・その他())

⑯ 供養を始めて何年になりますか。(年)

問 23. 「水子供養」を希望される方は、最近では、月平均何人くらいですか。また、そのうち、郵便による「供養」の申し込み者は月平均何人くらいですか。

希望者全体月平均

1人～ 5人	45(29.6%)	6人～ 10人	21(13.8%)	11人～ 20人	14(9.2%)
21人～ 40人	9(5.9%)	41人～ 60人	4(2.6%)	61人～100人	3(2.0%)
101人～300人	6(3.9%)	301人～500人	1(0.7%)	501人～999人	1(0.7%)
1,000人以上	3(2.0%)	なし	4(2.6%)	無回答・不明	41(27.0%)

郵便による申し込み者月平均

1人～ 5人	13(8.6%)	6人～10人	4(2.6%)	11人～20人	3(2.1%)
21人～40人	2(1.3%)	41人～60人	2(1.3%)	61人～99人	0(0.0%)
100人以上	2(1.3%)	なし	56(36.8%)	無回答・不明	70(46.1%)

問 24. 「水子供養」を希望される方は、貴団体への参拝者（訪問者）全体の何割くらいでしょうか。

1割未満	46(30.3%)	1割	27(17.8%)	2割	5(3.3%)	3割	11(7.2%)
4割	4(2.6%)	5割	5(3.3%)	6割	2(1.3%)	7割	0(0.0%)
8割	2(1.3%)	9割	1(0.7%)	10割	6(3.9%)	不明	7(4.6%)
無回答	36(23.7%)						

問 25. 貴団体の場合、「水子供養」を希望される方が多いのは、時期的にいつ頃でしょうか。

【複数回答】

お彼岸のころ	51(33.6%)	お盆のころ	35(23.0%)
広告を出したあと	7(4.6%)	例祭・法要のころ	6(3.9%)
マスコミ報道のあと	5(3.3%)	きまった傾向はない	42(27.6%)

問 26. 貴団体では、「水子供養」を希望される方の数は、最近増えていますか、減っていますか。

近年かなり増えている.	13(8.6%)	近年やや増えている.	27(17.8%)
以前とあまり変わらない.	42(27.6%)	以前よりやや減っている.	23(15.1%)
以前よりかなり減っている.	20(13.2%)	無回答	27(17.8%)

問 26-2. これまで最も多かったのは何年頃ですか

昭和14年	1(0.7%)	昭和25年	1(0.7%)	昭和49年	1(0.7%)
昭和50年	1(0.7%)	昭和51年	1(0.7%)	昭和52年	1(0.7%)
昭和53年	3(2.0%)	昭和54年	6(3.9%)	昭和55年	7(4.6%)
昭和56年	8(5.3%)	昭和57年	7(4.6%)	昭和58年	11(7.2%)
昭和59年	1(0.7%)	昭和60年	4(2.6%)	不明	1(0.7%)
無回答	98(64.5%)				

問 27. 貴団体に「水子供養」をお願いする場合、どういう仕方で「供養」していただけますか。また、その費用はおいくらでしょうか。【複数回答】

供養の方法

読経・加持祈禱	82(53.9%)	地藏・観音像	39(25.7%)
卒塔婆・位牌・経木	33(21.7%)	線香・お花・お供え	22(14.5%)
お礼・お守り	8(5.3%)	その他	18(11.8%)

供養料（最低金額）				供養料（最高金額）			
無料	7(4.6%)	5万円	4(2.6%)	無料	7(4.6%)	2万300円	1(0.7%)
1,000円未満	6(3.9%)	5万円	2(1.3%)	1,000円未満	2(1.3%)	2万5,000円	1(0.7%)
1,000円	6(3.9%)	5万円以上	1(0.7%)	1,000円	1(0.7%)	2万8,000円	1(0.7%)
2,000円	7(4.6%)	お志	23(15.1%)	2,000円	4(2.6%)	3万円	6(3.9%)

問 16. 貴団体の教養と「水子供養」とのつながりをお教え下さい。

- 「水子供養」を行なうのは、教養上当然である 62(40.8%)
 「水子供養」を行なうのは、教養と直接のつながりはないが、宗教活動として当然である。 63(41.4%)
 「水子供養」を行なうのは、教養上問題があるが、せざるをえない。 3(2.0%)
 「水子供養」は、教養上行なうべきではないと感じている。 4(2.6%)
 無回答 20(13.2%)

問 17. 貴団体では、現在までにあわせてどれくらいの「水子供養」をなさったでしょうか。件数をお教え下さい。

- 1件～ 99件 20(13.2%) 100件～ 499件 24(15.8%) 500件～999件 8(5.3%)
 1,000件～4,999件 26(17.1%) 5,000件～9,999件 4(2.6%) 10,000件以上 14(9.2%)
 不明・不詳 24(15.8%) 無回答 32(21.1%)

問 18. 貴団体には「水子供養」のためだけの設備・施設がありますか。

- ある 88(57.9%) ない 50(32.9%) 無回答 14(9.2%)

問 18-2. それはどのような設備・施設でしょうか。【複数回答】

- 水子地蔵の設置 61(40.1%) 祭壇・卒塔婆の設置 26(17.1%)
 水子観音の設置 21(13.8%) 納骨堂の設置 6(3.9%)
 その他の設備の設置 9(5.9%)

問 19. 貴団体は「水子供養」のための定期的な儀式・年中行事（たとえば、定期的法要など）を行なっておられますか。【複数回答】

- 年中行事として供養を行なう 65(42.8%) 月例供養を行なう 39(25.7%)
 毎日供養を行なう 17(11.2%) 供養は不定期 23(15.1%)

問 20. 「水子供養」を希望される方の多くは、さまざまな悩み・心配ごとをかかえておられると思います。貴団体では、それらの悩みごとの相談に応じておられますか。

- 積極的に相談にのっている。 71(46.7%) 事情によっては相談に応じる。 64(42.1%)
 原則として相談には応じない。 3(2.0%) 無回答 14(9.2%)

問 20-2. どんな相談ごとが多いのでしょうか。主なものをお教え下さい。【複数回答】

- 病気・怪我 58(38.2%) 子供の教育や非行 45(29.6%)
 家族関係の問題 39(25.7%) たたり 32(21.1%)
 結婚問題 14(9.2%) 仕事・金銭問題 12(7.9%)
 不妊の悩み 11(7.2%) その他 33(21.7%)

問 21. 貴団体では、「水子供養」の宣伝・広告をしておられますか。

- している 46(30.3%) していない 99(65.1%) 無回答 7(4.6%)

問 21-2. 主にどのような方法でなさっておられますか。【複数回答】

- 看板を出す 19(12.5%) 電話帳に掲載する 16(10.5%)
 チラシ配布 15(9.9%) 新聞・雑誌に掲載する 9(5.9%)
 ラジオ テレビ 1(0.7%)

問 22. 貴団体では、「水子供養」についてのテレビ番組や雑誌記事についてどのように受け取っておられるでしょうか。

- 「水子供養」を広めるうえで有益である。 16(10.5%)
 内容によっては、有益なものもある。 41(27.0%)
 本来の「水子供養」のありかたをゆがめている。 79(52.0%)
 無回答 16(10.5%)

問 8. 本堂（社殿・会堂）の広さはどのくらいですか.

1m ² ～ 49m ²	16(10.5%)	50m ² ～99m ²	15(9.9%)	100m ² ～299m ²	49(32.2%)
300m ² ～499m ²	20(13.2%)	500m ² 以上	26(17.1%)	なし	6(3.9%)
無回答・不明	20(13.2%)				

問 9. 貴団体がおまつりしておられる御本導（御神体）をお教えてください.

「御本導（御神体）」の名称が記入されたもの 142(93.4%)

問 10. 貴団体の所在地の環境は、次のどれにあてはまりますか.

商業地区	24(15.8%)	工業地区	2(1.3%)	住宅地区	62(40.8%)
田園地区	16(10.5%)	山林地区	37(24.3%)	その他	7(4.6%)
無回答	4(2.6%)				

問 11. 貴団体では、現在「水子供養」をなさっておられますか.

行なっている.	124(81.6%)
以前は行なっていたが現在は行っていない.	5(3.3%)
これまで全く行なったことがない	16(10.5%)
無回答・不明	7(4.6%)

問 12. 貴団体は、「水子」をどのように定義されていますか.

人工中絶・流産したものという.	80(52.6%)
人工中絶・流産・生後死したものという	38(25.0%)
流産・生後死したものという	3(2.0%)
流産・死産したものという	2(1.3%)
人工中絶したもののみをいう	1(0.7%)
生後死したもののみをいう	1(0.7%)
その他	7(4.6%)
無回答	20(13.2%)

問 13. 貴団体は、いわゆる「水子霊」の存在を認めますか.

認める	115(75.7%)	認めない	17(11.2%)	何ともいえない	12(7.9)
無回答	8(5.3%)				

問 13-2. 水子霊を「供養」しなければ、いわゆる「たたり」があるとお考えですか.

あ る	61(40.1%)	な い	39(25.7%)
その他	32(21.1%)	無回答・不明	20(13.2%)

問 14. 貴団体が「水子供養」を始められたのは、いつ頃からでしょうか.

昭和20年以前から	12(7.9%)	昭和21年～29年	8(5.3%)
昭和30年～39年	3(2.0%)	昭和40年～49年	21(13.8%)
昭和50年～55年	64(42.1%)	昭和56年以後	18(11.8%)
無回答・不明	26(17.1%)		

問 15. 「水子供養」を始められた事情をお教え下さい. 【複数回答】

依頼者・信者・檀徒の依頼・要請で	71(46.7%)
教義上の理由・宗門の指示・先代からの引き継ぎで	47(30.9%)
自分の体験を契機にして	13(8.6%)
ブーム・評判だから、他の団体をまねて	9(5.9%)
業者のすすめ・財政上の理由から	8(5.3%)
社会的風潮への批判の気持から	6(3.9%)
その他の理由で	6(3.9%)

『『水子供養』に関する調査』の調査報告 (B)

(単純集計)

対象：「水子供養」実施団体*

実施：昭和 61 年 6 月

調査者：現代宗教社会学研究会

(代表者 京都大学助教授 高橋三郎)

有効回答数：152 (回収率 40.4%)

備考：数値はケース数

* 書籍・新聞・雑誌などで、「水子供養を行っているところ」として紹介されている宗教団体・心霊家

問 1. 貴団体の正式名称をお教え下さい。

【略】

問 2. 貴団体は、何らかの宗派（教派、教団）に属していますか。

宗派（教派・教団）名をお教え下さい。

天台系	11(7.2%)	真言系	23(15.1%)	浄土系	14(9.2%)
臨済系	7(4.6%)	曹洞系	20(13.2%)	日蓮系	11(7.2%)
その他仏教系	16(10.5%)	神道系	14(9.2%)	諸派・心霊家	34(22.4%)
無回答	2(1.3%)				

問 3. 貴団体は、次のいずれに該当しますか。

包括宗教団体	41(27.0%)	被包括宗教団体	40(26.3%)
単立宗教法人	42(27.6%)	その他	23(15.1%)
無回答	6(3.9%)		

問 4. 貴団体は、いつ創設（開基・設立）されましたか。

明治以前	66(43.4%)	明治元年から昭和 20 年まで	9(5.9%)
昭和 20 年以後	66(43.4%)	無回答	11(7.2%)

問 5. 貴団体の信者数（檀家・氏子・会員などの人数）をお教え下さい。

1人～ 99人	9(5.9%)	100～ 499人	45(29.6%)
500人～ 999人	19(12.5%)	1,000人～4,999人	32(21.1%)
5,000人～9,999人	5(3.3%)	10,000人以上	17(11.2%)
信者なし	8(5.3%)	無回答・不明	17(11.2%)

問 6. 貴団体の専従職員数をお教え下さい。（教師・事務の総数）

1人	22(14.5%)	2人	26(17.1%)	3人	23(15.1%)
4人	11(7.2%)	5人	17(11.2%)	6人～10人	17(11.2%)
11人～20人	9(5.9%)	21人～50人	6(3.9%)	51人～98人	3(2.0%)
99人以上	5(3.3%)	なし	13(8.6%)	無回答	13(8.6%)

問 7. 境内地（敷地）の広さは、およそどれくらいですか。

1m ² ～ 99m ²	10(6.6%)	100m ² ～ 499m ²	19(12.5%)	500m ² ～999m ²	10(6.6%)
1,000m ² ～4,999m ²	46(30.3%)	5,000m ² ～9,999m ²	19(12.5%)	10,000m ² 以上	23(15.1%)
なし	9(5.9%)	不明・無回答	16(10.5%)		

宗派不明仏教	8(3.8%)	奈良仏教系	1(0.5%)	その他の仏教	1(0.5%)
プロテスタント	28(13.4%)	カソリック	11(5.3%)	不 明	16(7.7%)

問 2. 貴団体は、「水子供養」を公式に認めておられますか.

公式に認めている	43(20.6%)
公式には認めていないが、被包括団体・下部組織の判断にまかせている	35(16.7%)
公式には認めていない	64(30.6%)
とくに態度を決めていない	51(24.4%)
無回答	16(7.7%)

問 3. 「水子供養」の是非を貴団体の教義からご説明下さい.

〔集計では、この質問に対する回答の有無と、教養による説明の有無で処理.〕

回答の有無

あ り	178(85.2%)	な し	31(14.8%)
-----	------------	-----	-----------

教養による説明の有無

あ り	153(73.2%)	な し (回答なしを含む)	56(26.8%)
-----	------------	---------------	-----------

問 4. 貴団体の被包括団体・下部組織には、現在「水子供養」をされているものがありますか.

あ る	89(42.6%)	な い	103(49.3%)	わからない	3(1.4%)
-----	-----------	-----	------------	-------	----------

無回答 14(6.7%)

問 5. 貴団体では、被包括団体・下部組織から「水子供養」についての問い合わせがありますか.

よくある	19(9.1%)	ときどきある	51(24.4%)	ほとんどない	45(21.5%)
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------

まったくない	79(37.8%)	無回答	15(7.2%)
--------	-----------	-----	-----------

問 6. 最近の「水子供養ブーム」について、貴団体はどのような見解をおもちですか.

望ましい	34(16.3%)	望ましくない	96(45.9%)	何ともいえない	62(29.7%)
------	-----------	--------	-----------	---------	-----------

無回答 17(8.1%)

問 7. 貴団体は、人工中絶についてどのような見解をおもちですか.

権利として当然認められる	0(0.0%)	絶対に許されるべきではない	77(27.3%)
--------------	----------	---------------	-----------

事情によってはやむをえない	134(64.1%)	見解未定	1(0.5%)
---------------	------------	------	----------

無回答 17(8.1%)

問 8. 貴団体は、現行優生保護法について、どのような見解をおもちですか.

人工中絶をより規制する方向で改正すべきだ	104(49.8%)	現行のままでよい	67(32.1%)
----------------------	------------	----------	-----------

人工中絶をより自由化する方向で改正すべきだ	2(1.0%)	見解未定	5(2.4%)
-----------------------	----------	------	----------

無回答 31(14.8%)

問 9. 貴団体は、いわゆる「たたリ」についてどのような見解をおもちですか.

「たたリ」は存在する	57(27.3%)	「たたリ」は存在しない	94(45.0%)
------------	-----------	-------------	-----------

何ともいえない	42(20.1%)	無回答	16(7.7%)
---------	-----------	-----	-----------

問 10. 貴団体では、「水子供養」の是非について、公式の通達や特別の指導を被包括団体・下部組織にしておられますか.

している	30(14.4%)	していない	162(77.5%)	無回答	17(8.1%)
------	-----------	-------	------------	-----	-----------

う機会は今回が初めてで、研究員は宿坊に2泊し、供養の実態・供養者の意識に直接ふれることが出来た。その最盛期は既に過ぎたといわれるものの、みず子供養の現場の熱気は凄まじく観る者を圧倒した。大雨の中を石積みの地蔵や石造りの地蔵尊にいろとりどりの人形や菓子・風車を供え、あるいは浴衣を着せて行く供養者達の、まさに群れをなす姿、「イタコ」の口寄せに涙する若い女性等、京都の寺院では接したことのない庶民・常民のエネルギーの盛り上に驚く許りであった。大祭と銘打つ祭であるだけに、又東北の人々であるだけに、それは一層激しいものだったのかも知れない。この臨場感はあらためて一体日本人の宗教とはと研究者一同の胸に問い直させる程、強烈な印象の、貴重な体験であった。

第1回目の研究発表から、続行して集計された資料、ならびに京大現代宗教社会学研究会の協力

を得た寺社側のアンケート資料、更に双方の討議によって展開された問題を基礎にしたクロス統計資料が今回の我々の基礎資料である。

昭和62年9月17日立教大学で、日本宗教学会第46回学術大会が開催され、共同研究員は、以上の資料に基づいて、各自の視点から主題を掲げ、研究発表を行なった。各自の研究題目は以下の通りである。

- ・みず子供養に見る霊魂観の問題 神原和子
- ・みず子供養に見る宗教性の問題 岩本一夫
- ・みず子供養に見る現世利益の問題 大西 昇

今回の研究発表では、他分野との接触・交流を経て、前回よりも各自の視点が明確となり、理論を深めることが出来たのが大きな収穫といえよう。今後は京大宗教社会学研究会との交流を深め、更に研究を展開させる所存である。又出版の予定もたてている。

『水子供養』に関する調査」の調査報告 (A)

(単純集計)

対象：包括宗教団体・単立宗教法人*

実施：昭和61年6月

調査者：現代宗教社会学研究会

(代表者 京都大学助教授 高橋三郎)

有効回答数：209 (回収率 41.0%)

備考：数値はケース数

* 文化庁編『宗教年鑑』(昭和60年度版)で「包括宗教団体」及び「単立宗教法人」として記載されている宗教団体のすべて

問1. 貴団体の正式名称をお教え下さい。

[集計では、文部大臣包括宗教団体、都道府県知事包括宗教団体、その他の包括宗教団体、単立宗教法人、不明、の団体別分類と、宗派・教派別分類に分けた。]

団体別分類

文部大臣包括宗教団体	162(77.5%)	その他の包括宗教団体	22(10.5%)
都道府県知事包括宗教団体	17(8.1%)	単立宗教法人	7(3.3%)
不明	1(0.1%)		

宗派・教派別分類

教派神道	30(14.4%)	新教派神道	15(7.2%)	宗派不明神道	11(5.3%)
神社神道	7(3.3%)	真言宗	31(14.8%)	浄土宗系	18(8.6%)
天台宗	10(4.8%)	禅宗	9(4.3%)	日蓮宗	9(4.3%)